［様式Ｄ－１］

2017　年　2　月　17　日

公益財団法人　笹川記念保健協力財団
理事長　　喜　多　悦　子　殿

2016年度地域啓発活動助成

活　動　報　告　書

活 動 課 題

『がん患者さんのための療養ガイド』の普及活動

活動団体名：琉球大学医学部附属病院がんセンター

活動者（助成申請者）名：増田　昌人

2017年2月14日

公益財団法人 笹川記念保健協力財団
理事長 喜多 悦子 殿

琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田　昌人

2016年度　地域啓発活動助成　報告書

Ⅰ 活動の目的

2016年3月に、主に離島やへき地の一般住民を対象に、自らが望むがん医療とその後の療養や介護（看取りを含む）をどこでどのように受けられるのかを紹介した『がん患者さんのための療養場所ガイド』①竹富町・与那国町編、②石垣市編、③多良間村編、④宮古島市編、⑤伊平屋村・伊是名村・伊江村編、⑥本島北部編、⑦本島周辺の離島村編、⑧久米島町編（以下、療養場所ガイド）をそれぞれ1,000～3,000部発行した。現在、市役所・町村役場、保健所、図書館、公民館、医療機関等で、一般住民の希望者に対して、無料配布を行っている。

本島周辺離島の住民を対象に、療養場所ガイドの活用説明会を行い、離島の住民ががんと診断された時に十分な情報を得て、自らが望む場所（医療機関も含む）で、がん医療とその後の療養や介護（看取りを含む）を受けられるようになることを目的とする。

Ⅱ 活動の内容・実施経過

久米島町（9月16日）、伊平屋村（9月30日）、北大東村（12月9日）および南大東村（12月10日）において、それぞれ首長との意見交換、診療所長との意見交換、療養場所ガイド活用説明会を行った。

１．行政担当者との協議（約1時間）

首長および担当課長に直接説明を行い、地元でできるがん医療について理解を深めていただくと同時に、各町村での沖縄本島への渡航費助成に関する話し合いを持った。

２．診療所所長との協議（約1時間）

申請者が発行した療養場所ガイドの内容に齟齬をきたしていないかの確認を行った。離島のがん医療の現状について、説明を受けた。その上で、当日の活用説明会の講演内容について、意見交換と発表内容の調整を行った。

３．活用説明会（約1.5時間）

基本的には、最初に申請者が、「がん診療について」の講演（約30分）を行った。次に、地元の診療所長が、「地元でできるがん診療について」の講演（約 30 分）を行った。その後は、質疑応答を行った。久米島町では、その場で個別の「がん相談」を行った。（詳細は

別紙資料１～４参照）

Ⅲ 活動の成果

各首長からは、口頭ではあるが、地元の診療所および病院で可能ながん医療について、「地元（の診療所）で可能ながん医療が、予想以上に多岐に亘ることを初めて知った。これは、町村民に伝えるべきことである。」という趣旨の発言をいただいた。

また、診療所の所長からは、口頭ではあるが、「地元の住民に、正確な情報を伝えようとしていたが、忙殺されてできていなかった。このような機会が得られて、良かった。」という趣旨の発言をいただいた。

各離島の住民へのアンケート結果から、がんになったとき、久米島町で治療することに不安はあるかの問いには、久米島59%、伊平屋島76%、北大東島67%、南大東島78%が不安を感じていた。がんの療養について十分な情報が行き渡っているかの問いには、久米島12%、伊平屋島17%、北大東島17%、南大東島20%が行き渡っていると答えた。

また、地元の診療所が携わることができるがん医療の範囲を理解できたかにかに関しては、久米島88%、伊平屋島93%、北大東島71%、南大東島83%が理解できたと答えた。療養場所ガイドの内容について分かりやすいと答えたのは、久米島64%、伊平屋島69%、北大東島61%、南大東島50%であった。療養場所ガイドを活用できそうと答えたのは、久米島76%、伊平屋島90%、北大東島94%、南大東島80%であった。療養場所ガイドを今後も継続して作成して欲しいと答えたのは、久米島88%、伊平屋島83%、北大東島84%、南大東島89%であった。

このことから、離島の住民はがん医療に関しては不安を抱え、かつ情報が不足していると感じている方が多いことが分かった。さらに、このような活用説明会を行うことにより、療養場所ガイドの活用に役に立っている結果が得られた。

しかし、療養場所ガイドの活用説明会を行い、離島の住民ががんと診断された時に十分な情報を得て、自らが望む場所（医療機関も含む）で、がん医療とその後の療養や介護（看取りを含む）を受けられるようになることの検証が実際には行えていない。

Ⅳ 今後の課題

本活動の目的が達成できているのかの検証をするために、新規のがん患者の受療行動に関する調査と満足度調査を行うことが必要である。

Ⅴ 活動の成果等の公表予定（学会、雑誌）

日本臨床腫瘍学会や日本癌治療学会にて、発表予定である。

資料1

琉球大学医学部附属病院がんセンター

がん療養場所ガイド活用説明会in久米島町に関する報告書

2016年9月16日

がん療養場所ガイド活用説明会in久米島町　概要

「がん患者さんのための療養場所ガイド」の刊行に際し、本書の活用説明会を久米島町で実施した。活用説明会では公立久米島病院の藤田医師に講演を依頼した。また当地での説明会開催に際し、久米島町役場、公立久米島病院、球美の島診療所を表敬訪問した。

■がん患者さんのための療養場所ガイド活用説明会　久米島町
開催にともなう面会依頼
（久米島町役場）
日　　時：平成28年9月16日（金）10：00～11：00
場　　所：久米島町役場
出席者：久米島町役場福祉課長　田端　智　様
久米島町役場 福祉課健康づくり班　班長　安里　順　様
久米島町役場 福祉課健康づくり班　崎村　亮介　様
久米島町役場　福祉課健康づくり班　保健師
琉球大学医学部附属病院がんセンター　センター長　増田昌人
琉球大学医学部附属病院がんセンター　事務補佐員　又吉未央

（球美の島診療所）
日　　時：平成28年9月16日（金）12：30～13：00
場　　所：球美の島診療所
出席者：球美の島診療所長　吉村　純　様
琉球大学医学部附属病院がんセンター　センター長　増田昌人
琉球大学医学部附属病院がんセンター　事務補佐員　又吉未央

（公立久米島病院）
日　　時：平成28年9月16日（金）16：30～17：00
場　　所：公立久米島病院
出席者：公立久米島病院　院長　深谷　幸雄　様
琉球大学医学部附属病院がんセンター　センター長　増田昌人

■療養場所ガイド活用説明会in久米島町
日　　時：平成28年9月16日（金）19：00～20：00
場　　所：久米島町役場　仲里庁舎　2階会議室
内　　容：（１）　講演「久米島でできるがん医療」
公立久米島病院　藤田操医師
（２）「本書の使い方、入手方法について」
琉球大学医学部附属病院がんセンター長　増田 昌人
（３）質疑応答

告知ツール（チラシ・ポスター）

がん専門医が伝える
病院・診療所の上手なかかり方

もしも島で
がんになったら

久米島町のみなさまへ
現在、かなりのがん医療が公立久米島病院で行われています。また球美の島診療所と連携して、できるがん医療もあります。
今回の説明会では、久米島や本島でできるがん医療について、専門家の立場からお話ししたいと思っています。

琉球大学医学部附属病院 がんセンター長
増田 昌人

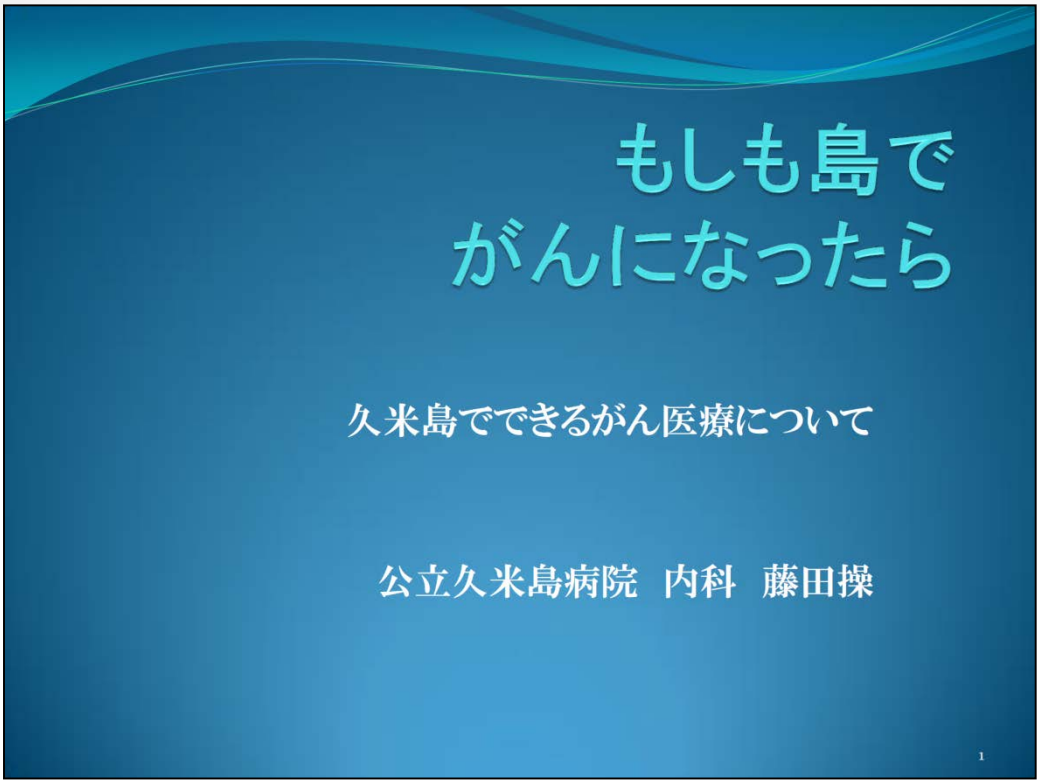
―がん療養場所ガイドブック活用説明会in久米島―

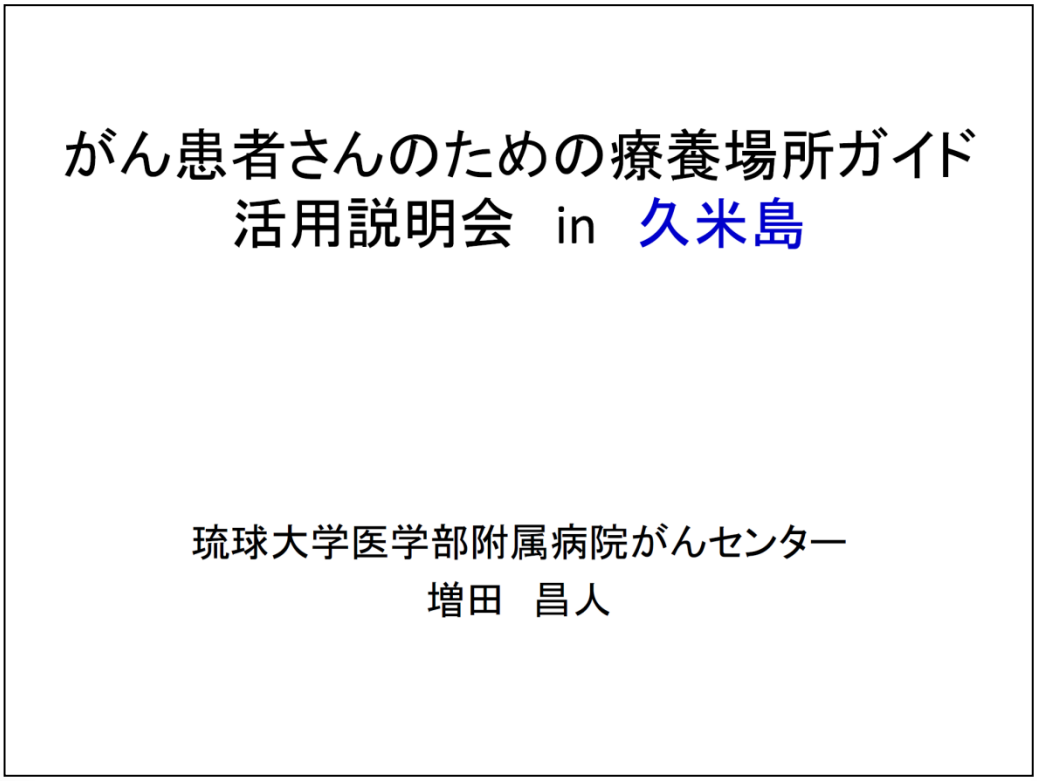
（講演）
・久米島できるがん医療について　公立久米島病院　藤田 操 先生
・本書の概要と使い方について　琉球大学医学部附属病院がんセンター長　増田 昌人

日 時：9月16日(金)　19：00-20：00(18：30開場)
場 所：久米島町役場　仲里庁舎　2階会議室
対 象：久米島町にお住まいのみなさん
参加費：無料
主 催：琉球大学医学部附属病院がんセンター

内容に関するお問い合わせ：琉球大学医学附属病院　がんセンター　☎ 098-895-3331(内線4359)

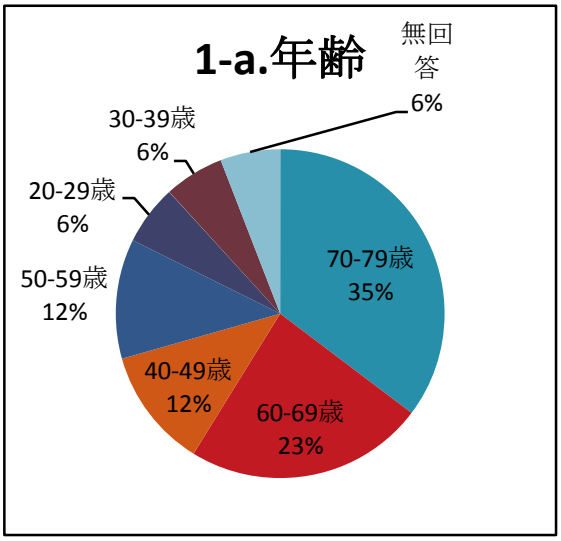
当日スライド表紙

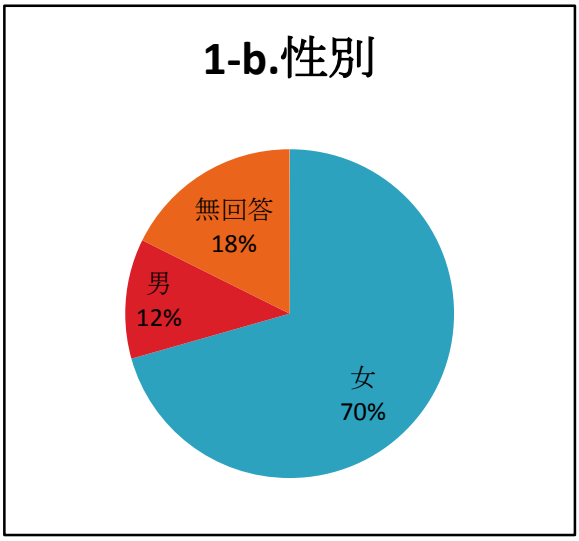

もしも島で
がんになったら
久米島でできるがん医療について
公立久米島病院　内科　藤田操
1

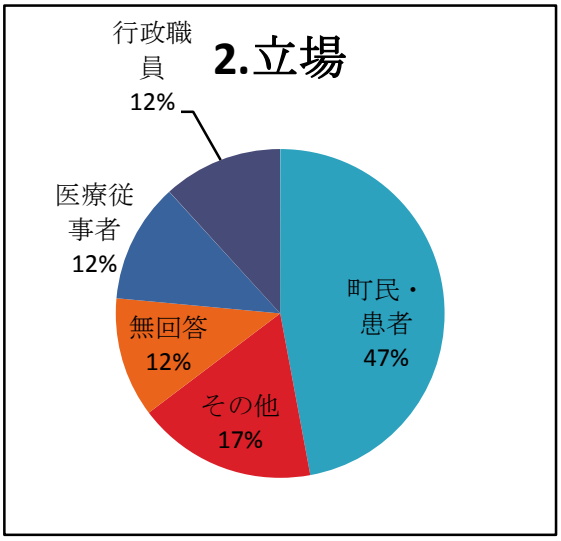

がん患者さんのための療養場所ガイド
活用説明会　in　久米島
琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田　昌人

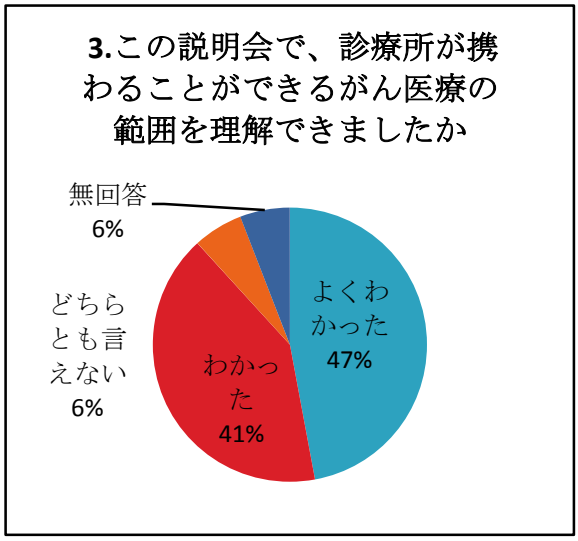
療養場所ガイド活用説明会in久米島アンケート結果

2016年9月16日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会in久米島
参加者19人　アンケート回答率89.5%





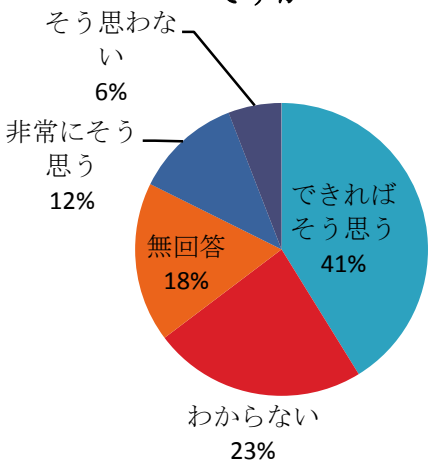




療養場所ガイド活用説明会in久米島アンケート結果

2016年9月16日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会in久米島
参加者19人　アンケート回答率89.5%

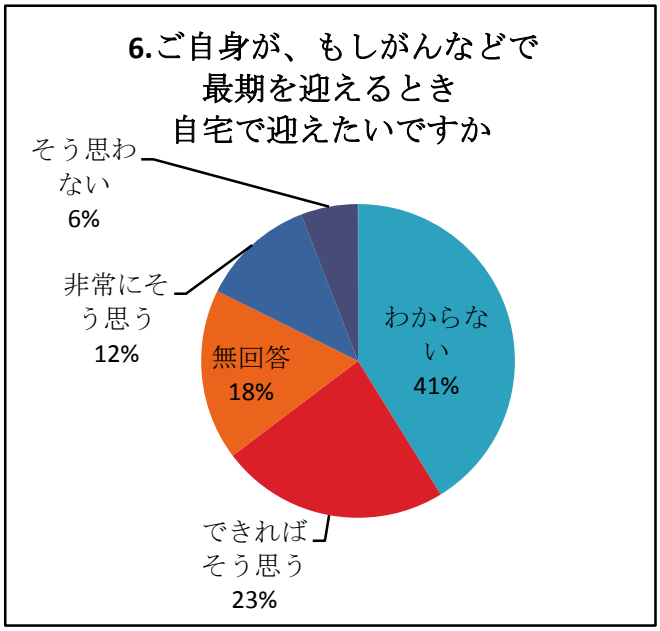
4.もし身内が、がんなどを患い自宅で最期を希望されるとき、自宅で看取りたいですか



５．　4の理由を教えてください
常に家族が居る状態でケアしたい。そして看取りたいです。
当事者（わたし）の状況により、よく対応ができるかわらないので。
自分がそうしたいから。
本人が希望すれば、安らかに。
私自身もがん患者なので、怖くて看取れないと思う。
最期は住み慣れた自宅で家族と暮らしながら生活していってほしいから。
がんの転移にはどう対処すればいいのかわかりません。10月に治療のため、妹と一緒に那覇に出ます。
なるべくなら、希望にそって支えたいと思います。
家族で世話する人がいるかどうか。子供たちは島外に住んでいるため。
がんであろうとなかろうと、最期の時は本人の望むようにしてあげたいです。
最期は家族と一緒に暮らしたい。

療養場所ガイド活用説明会in久米島アンケート結果

2016年9月16日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会in久米島
参加者19人　アンケート回答率89.5%

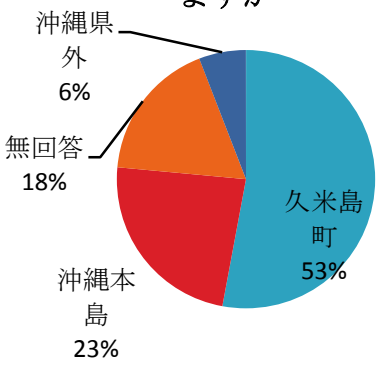


7．6の理由を教えてください
できる限り変わらない生活の中で、環境で迎えられたい。
家族が対応できるか知らないので。
がんは最後まで意識がはっきりしていると言われているので、身内の顔や声を聞きながら息をひきとりたい。
疼痛コントロールしてのんびり生活する。
病院でできる事なら安らかに最期を迎えたいです。
家族に負担になる部分が気になるが、なるべくは自宅で最期を迎えたい。
家族に迷惑になるのでは？
4年前に乳がんになり、現在も那覇西クリニックに通院し治療中です。
もし病院にいた方が痛みを抑えられるといったことか、家族の負担にならないなら病院でも良いかと思いました。
家族で世話する人がいるかどうか。子供たちは島外に住んでいるため。
家族の負担を考えると申し訳ないので病院で治る見込みがなければ、ひどい姿を見せたくないのでどこか誰もいない所で最期を迎えたい。知り合いのいない病院。
家族と一緒に過ごしたいが、負担はかけたくない。

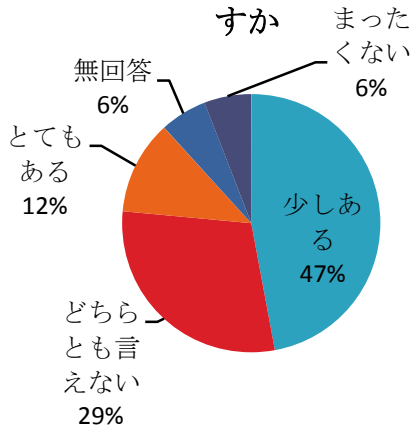
療養場所ガイド活用説明会in久米島アンケート結果

2016年9月16日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会in久米島
参加者19人　アンケート回答率89.5%

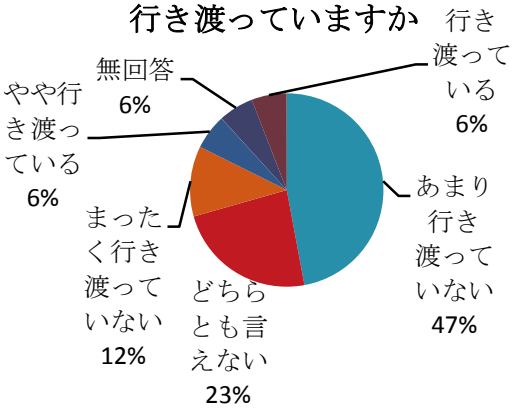
8.もしあなたががんになったら、どこで治療したいと思いますか



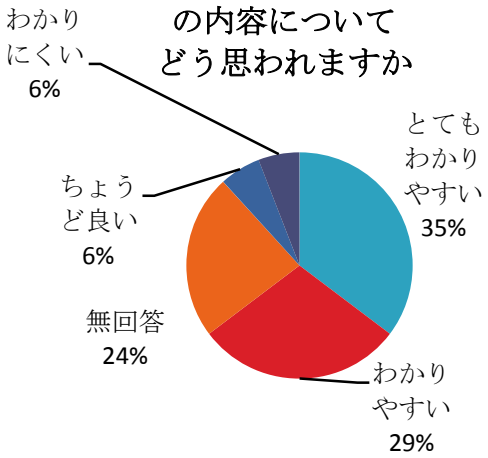
9.がんになったとき、久米島町で治療することに不安はありますか



10.久米島町では、がんの療養について十分な情報が行き渡っていますか



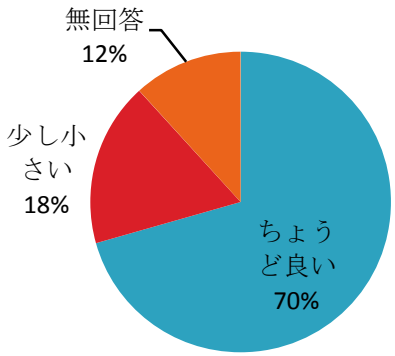
11.がん療養場所ガイドブックの内容についてどう思われますか



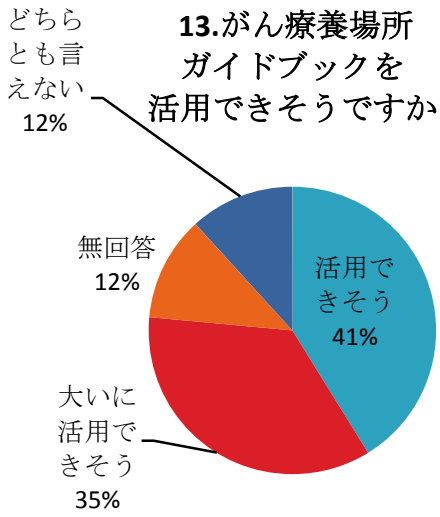
療養場所ガイド活用説明会in久米島アンケート結果

2016年9月16日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会in久米島
参加者19人　アンケート回答率89.5%

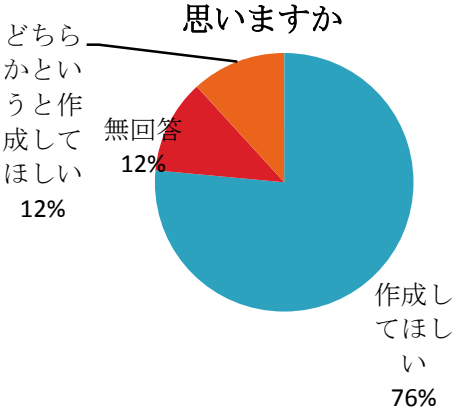
12.がん療養場所ガイドブックの文字の大きさ（フォントサイズ）について



13.がん療養場所ガイドブックを活用できそうですか

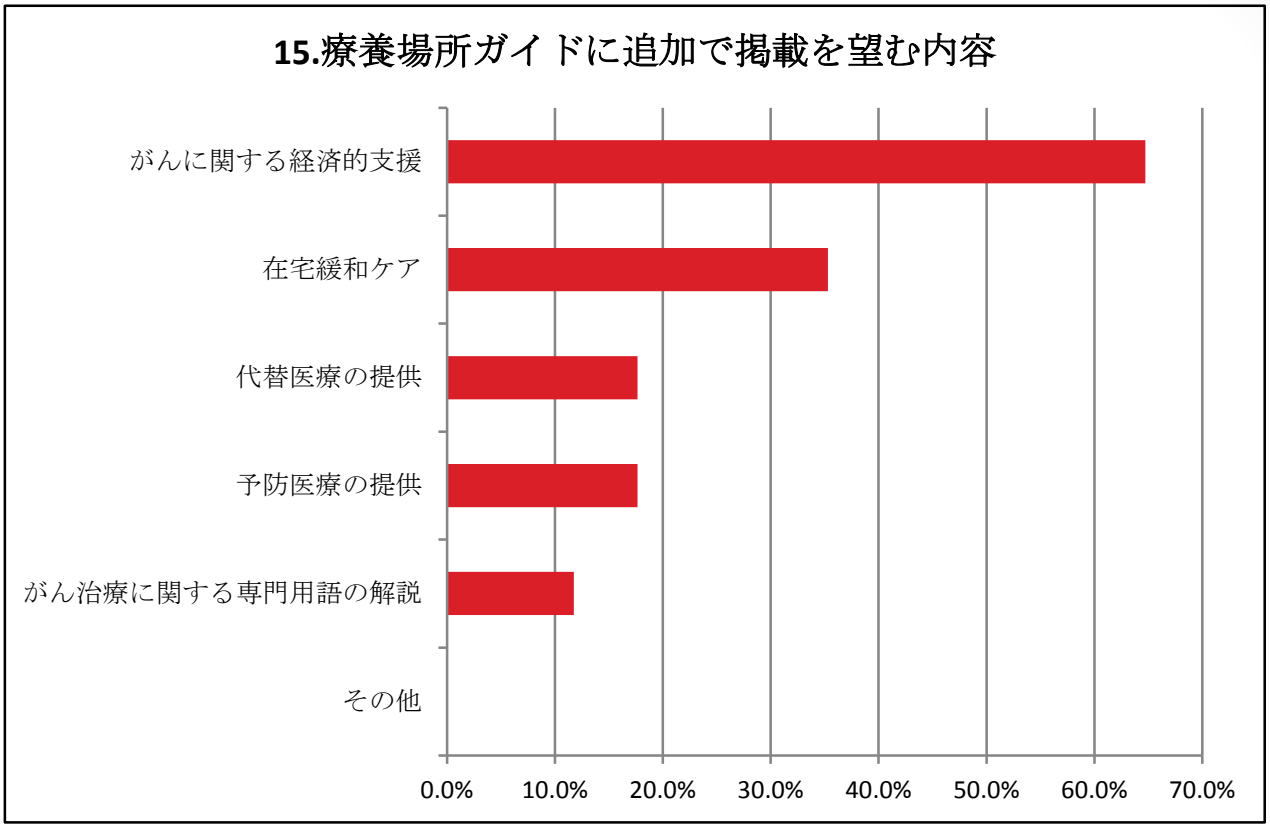


14.この冊子を、今後も継続して作成してほしいと思いますか



療養場所ガイド活用説明会in久米島アンケート結果

2016年9月16日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会in久米島
参加者19人　アンケート回答率89.5%



１６．その他　説明会の感想や、診療所への要望など何かあれば自由に記載してください
在宅緩和ケアに興味がありました。
久米島で治療できることは安心にもつながりますが、十分に納得できないこともある。
説明がわかりやすかったです。こういう機会を作ってくださって感謝いたします。ありがとうございます。
とてもよかった。
このような説明会は初めてでとてもありがたいと思います。久米島でどのような治療が受けられるのかといったこまかなことはこれまで知る機会がありませんでしたので…。また増田先生のあつい思いがとても伝わってきました。
説明会に参加してとても良かったと思います。病院では先生の顔色を伺いながらでしたが、今日の話しを聞き安心しました。
ありがとうございました。勉強になりました。

当日の様子

■がん患者さんのための療養場所ガイド活用説明会　久米島
開催にともなう面会依頼

（久米島町役場）

（球美の島診療所）

（公立久米島病院）

当日の様子

■療養場所ガイド活用説明会in久米島
講演：「久米島でできるがん医療」公立久米島病院　藤田　操 医師

講演：「本書の使い方、入手方法について」
琉球大学医学部附属病院がんセンター長　増田 昌人

資料2

琉球大学医学部附属病院がんセンター

がん療養場所ガイド活用説明会in伊平屋島に関する報告書

2016年9月30日

がん療養場所ガイド活用説明会in伊平屋島　概要

「がん患者さんのための療養場所ガイド」の刊行に際し、本書の活用説明会を伊平屋村で実施した。活用説明会では伊平屋診療所の船戸医師に講演を依頼した。また当地での説明会開催に際し、伊平屋村役場、伊平屋診療所を表敬訪問した。

■がん患者さんのための療養場所ガイド活用説明会　伊平屋島
開催にともなう面会依頼
（伊平屋村役場）
日　　時：平成28年9月30日（金）15：00～16：00
場　　所：伊平屋村役場
出 席 者：伊平屋村役場　村長　伊礼幸雄　様
伊平屋村役場　住民課　課長　仲川克子　様
伊平屋村役場　住民課　係長　新城順治　様
琉球大学医学部附属病院がんセンターセンター長　増田昌人
琉球大学医学部附属病院がんセンター事務補佐員　又吉未央

（伊平屋診療所）
日　　時：平成28年9月30日（金）17：00～17：30
場　　所：伊平屋診療所
出 席 者：伊平屋診療所長　船戸真史　様
琉球大学医学部附属病院がんセンターセンター長　増田昌人
琉球大学医学部附属病院がんセンター事務補佐員　又吉未央

■療養場所ガイド活用説明会in伊平屋島
日　　時：平成28年9月30日（金）19：00～20：00
場　　所：伊平屋村産業連携拠点センター　プレゼンテーションホール
内　　容：（１）　講演「伊平屋診療所のがん治療」
伊平屋診療所長　船戸真史　医師
（２）「本書の使い方、入手方法について」
琉球大学医学部附属病院がんセンター長　増田昌人
（３）質疑応答

告知ツール（チラシ・ポスター）

当日スライド表紙

伊平屋診療所のがん治療

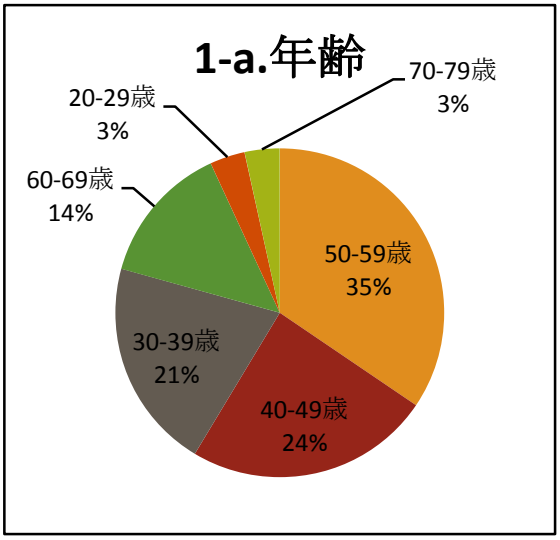
2016年9月30日　船戸真史

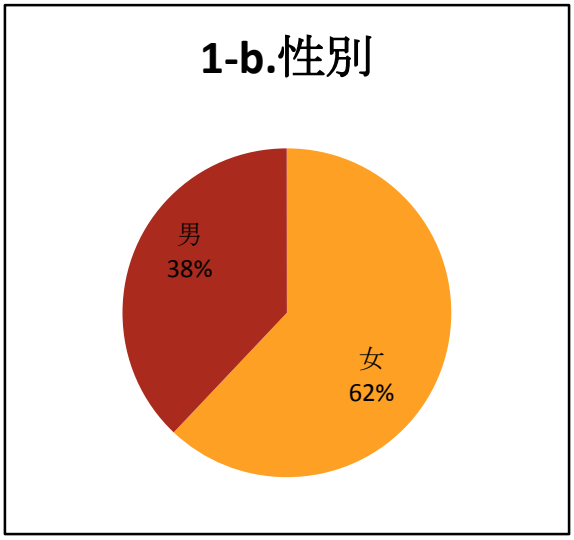
がん患者さんのための療養場所ガイド
活用説明会　in　伊平屋村

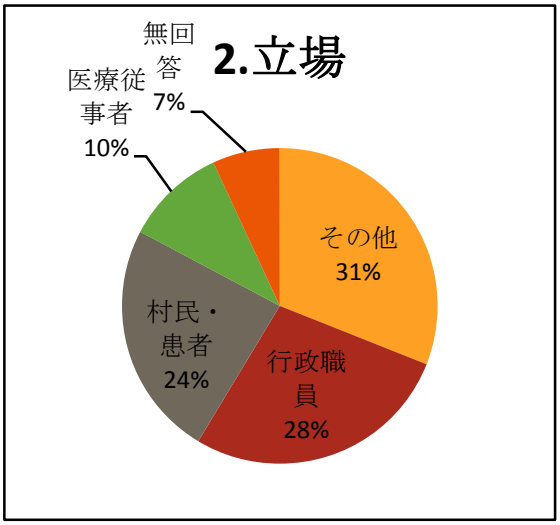
琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田　昌人

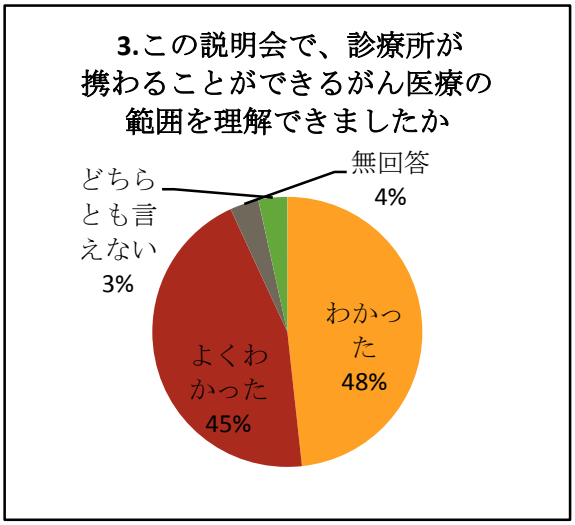
療養場所ガイド活用説明会in伊平屋島アンケート結果

2016年9月30日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会伊平屋村
参加者33人　アンケート回答率87.9%



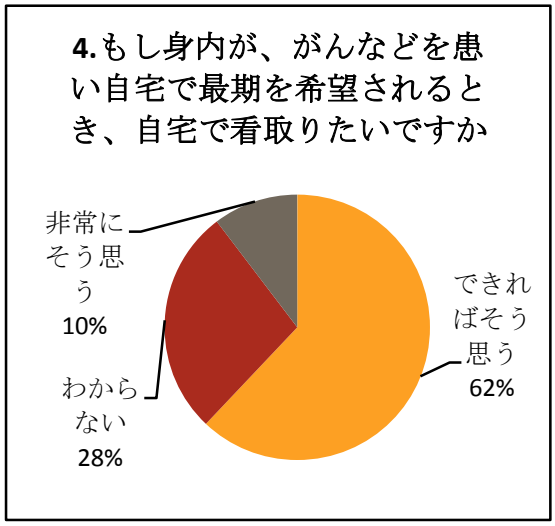






療養場所ガイド活用説明会in伊平屋島アンケート結果

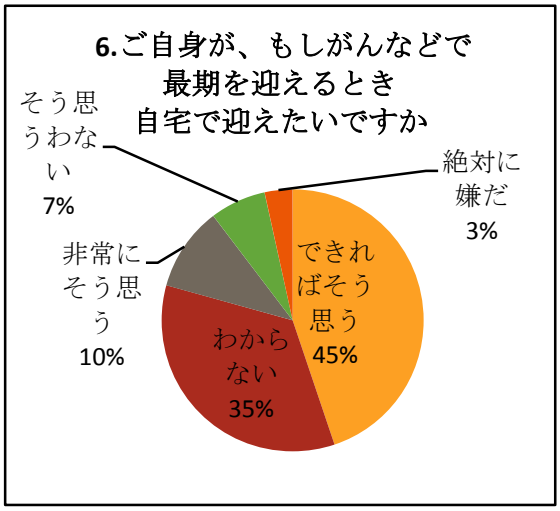
2016年9月30日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会伊平屋村
参加者33人　アンケート回答率87.9%



５．　４の理由を教えてください
大変だとは思いますが、本人の事を考えると生まれ育った所で一生を終えたいじゃないかと？
本人は自分の家で亡くなることは安心だと思います。
最後は本人の希望を通したい。
本人の希望を尊重したい気持ちもある反面、不安もある。
身近にそういう家庭があり、周りの友人、親族に支えられていたいと思います。本人が怖がりだった方だったので、治ると思いながらがんばっていました。それも家族で支えていました。
・お金、費用（医療費） ・家族の負担、高額医療制度を使っても額的に負担。
苦しむ姿を見たくないので。
最期ぐらい島で過ごさせたい。
自分が生活していた場所で安心して逝きたい。逝かせたい。
父親が3年前にがんで亡くなった時に病院で寂しくがんと戦っていたんだろうなと思い、父親を家で看取ってあげればよかったとすごく後悔したから。
痛みが伴うので、気持ち的には自宅で看取りたいと思うが現実的には厳しいと思う。
希望というならば…。
苦しむ姿を直視できるのかわからないので。
わたしの母は島で看取りたいと思っています。
自宅で最期、島で最期を迎えたいという思いがあると思うから。
本人の意志に添いたいと思う。（できる限り）家族で看取ることができる状況であれば…ですが。
本人の意思確認で、本人が希望するならなるべく叶えてあげたい。
本人がそれを望むなら多分受け入れると思う。
残り少ない時間を病院等で寂しく過ごすより家族で助け合い見守ったほうが人生の最期にふさわしいと思うから。
我が生まれ育った島が好きだし、家族に心配を掛けず静かに旅立ちたい。
希望にそって叶えてあげたい。

療養場所ガイド活用説明会in伊平屋島アンケート結果

2016年9月30日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会伊平屋村
参加者33人　アンケート回答率87.9%

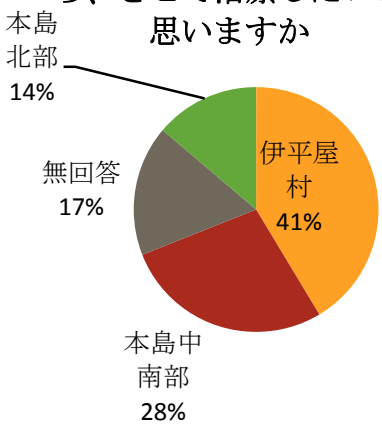


７．　６の理由を教えてください
そうしたいとは思うが、家族に大変な思いをさせるなあ？と思ってしまう。
自分以外の方々に迷惑をかけると思われるから村外の病院でもいいと思います。
最後であるなら自宅で良いかなと思う。
残された時間であるならば大切な人と過ごしたい。
最後まで友人達とかかわっていけたら…と思う（自分の場合）。または家族に負担をかけたくないとも思う。
他人に見られたくない。
家族の負担が大きくなければ自宅を希望する。大切な人がそばにいてくれる方が穏やかに過ごせる。
安心して家族と一緒にいたい。
家族と短い最期を過ごしたい。子供達と思い出を作り、子供達が私のことを忘れないためにもぜひ一緒に過ごしたい。
わが家が一番よい。
家族の負担を考えると病院でケアーを受ける方がよいと思う。
家族の気持ちもあるから。
希望としては自宅で迎えたい。
最期は痛みや不安が強いと思うので、点滴で意識がなくなるくらいの治療をしてほしい。
家族の理解が得られれば自宅で最期をむかえたいと思う。 →最後の船戸先生の話しを聞いて、自分が暮らしてきた好きな家、場所だから。
家族と一緒に暮らせるのであれば願う。しかし家族の負担になるのであれば考えてしまう。
家族といるだけで気持ちを切り替えることができる。
自分としては子供達がいる所で治療を続け最期を迎えたい。
最期は家族に見守られながら迎えたいから。
家族にありがとうのことばで感謝を申し上げ家族に見守られ健やかに旅立ちたい。
家族と一緒にいたいから。

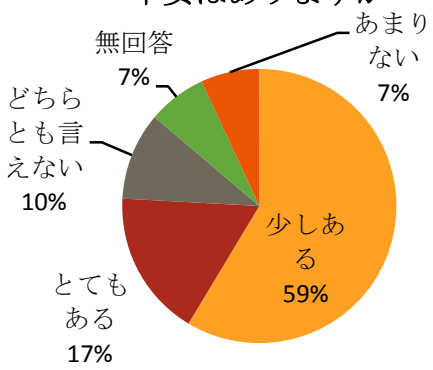
療養場所ガイド活用説明会in伊平屋島アンケート結果

2016年9月30日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会伊平屋村
参加者33人　アンケート回答率87.9%

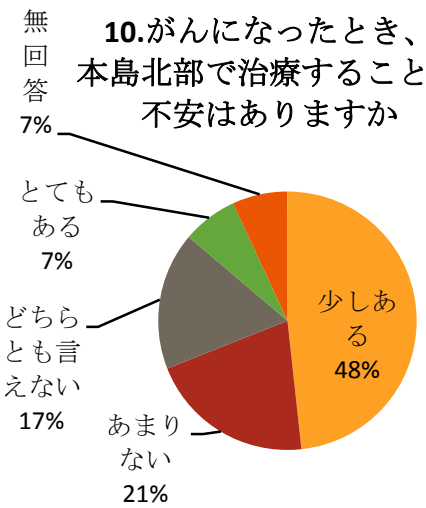
8.もしあなたががんになったら、どこで治療したいと思いますか



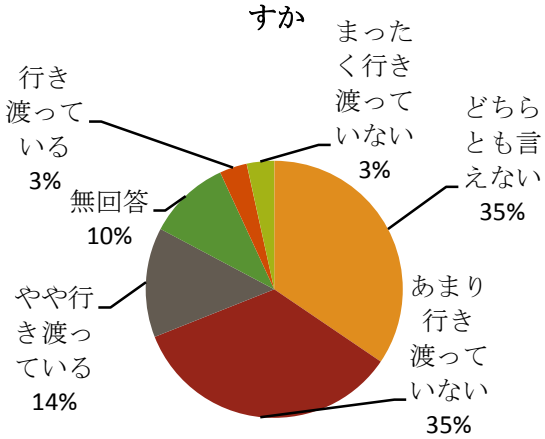
9.がんになったとき、伊平屋村で治療することに不安はありますか



10.がんになったとき、本島北部で治療することに不安はありますか



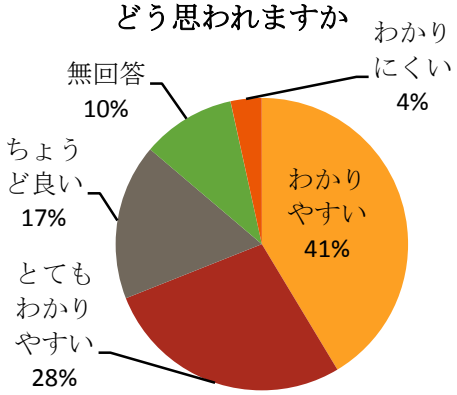
11.伊平屋村では、がんの療養について十分な情報が行き渡っていますか



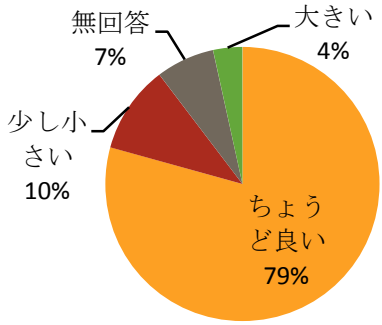
療養場所ガイド活用説明会in伊平屋島アンケート結果

2016年9月30日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会伊平屋村
参加者33人　アンケート回答率87.9%

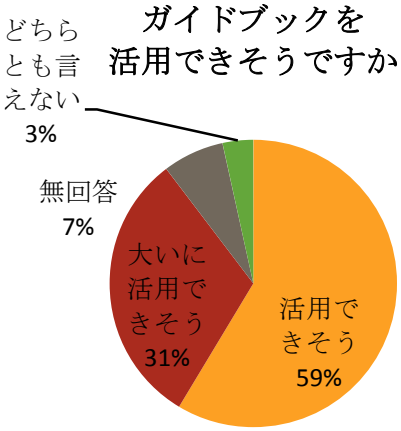
12.がん療養場所ガイドブックの内容についてどう思われますか



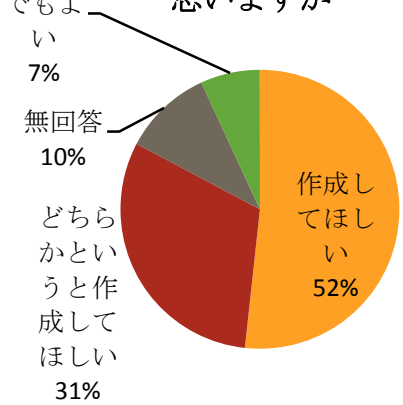
13.がん療養場所ガイドブックの文字の大きさ（フォントサイズ）について



14. がん療養場所ガイドブックを活用できそうですか

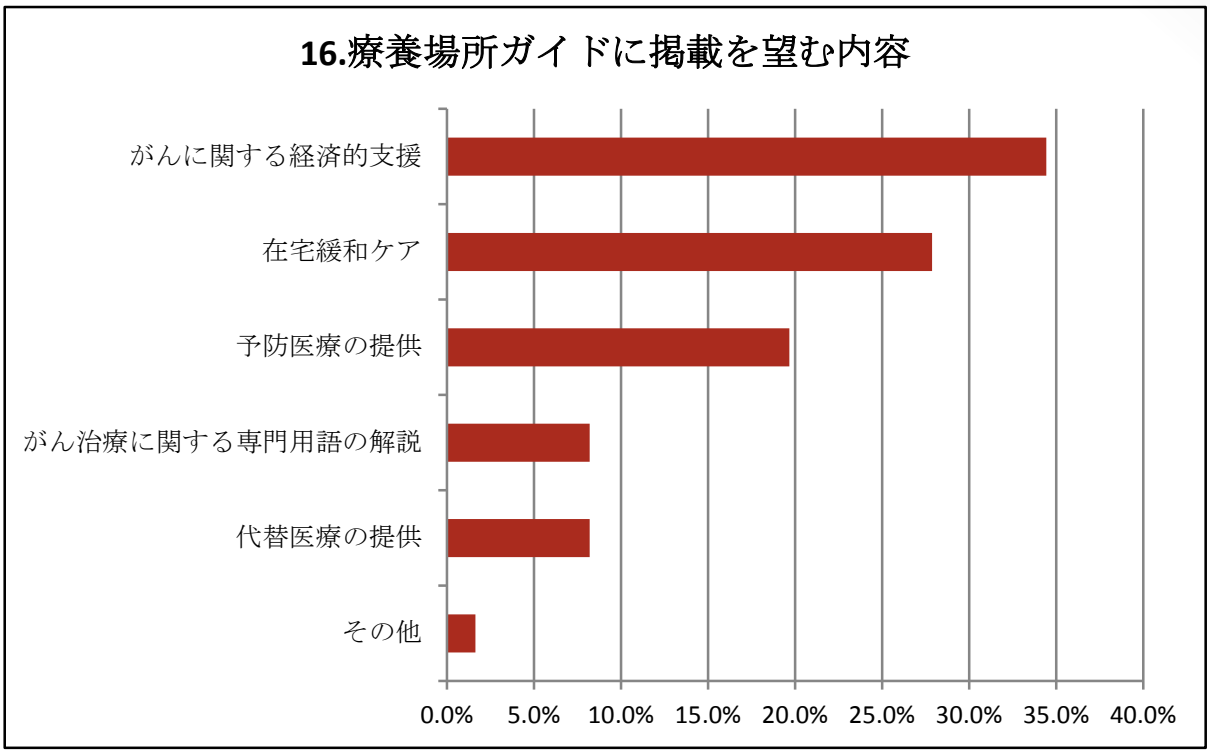


15.この冊子を、今後も継続して作成してほしいと思いますか



療養場所ガイド活用説明会in伊平屋島アンケート結果

2016年9月30日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会伊平屋村
参加者33人　アンケート回答率87.9%



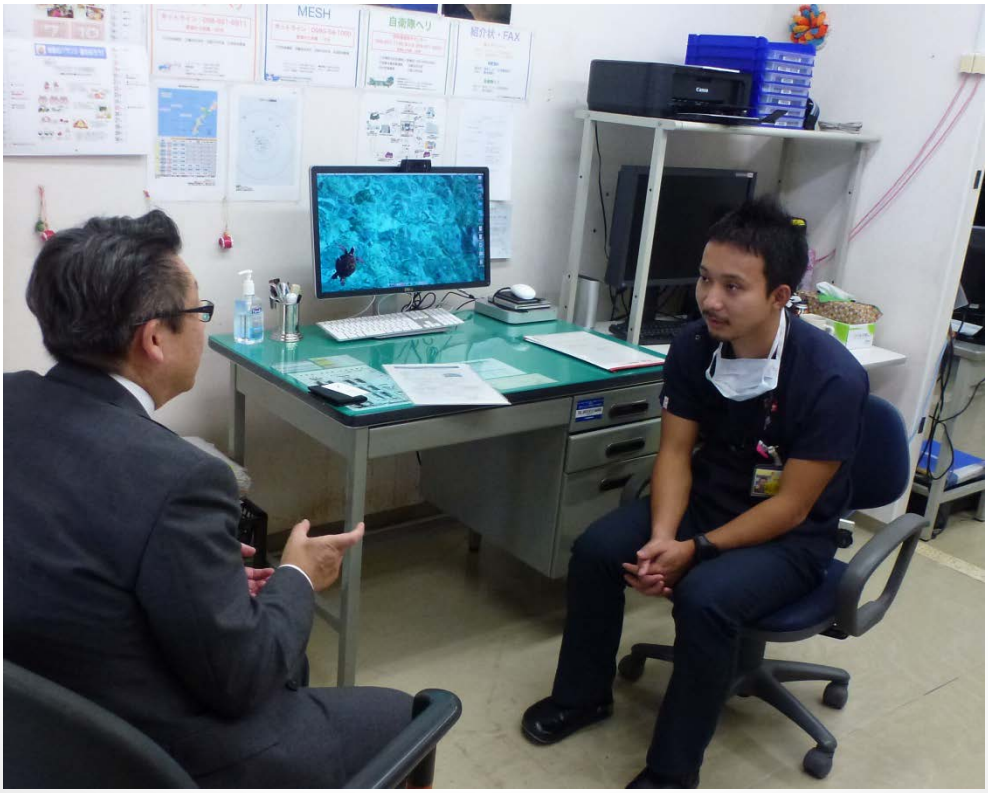
１７．その他　説明会の感想や、診療所への要望など何かあれば自由に記載してください
伊平屋診療所の役目やがんに対する事がわかりました。もっと村民にも声を掛け合い多くの参加を願いたい。
船戸先生の話しを聞いて心強く思いました。伊平屋に来てくれてありがとうございます。
病院と病院の連絡ガイドがあると思います。診療所にて待ち時間が長い事どうにか方法ありませんかね。
ガイドラインであったが分かり易くてよかったです。
がんがとても身近な病気であること、また治療ができる病気だとわかった。
とてもわかりやすい。よいです。
初めての説明会で色々学べることも多かったので、これからも事あるごとに説明会をもってほしいと思います。
このように具体的対応や内容に踏み込んだ講演会はもっとあっても良い、普通になればと思いました。死に方を考えることは生き方ですね。
素晴らしいお話をありがとうございました。がんという病気についてこれからも学んでいきたいと思います。
出来るだけ村民のニーズに対応した状況等金のかからない治療、診療所を目指してください。生きるとは金がかかる。
船戸先生はすばらしい先生だと思います。きめ細かく説明があるからです。

当日の様子

■がん患者さんのための療養場所ガイド活用説明会　伊平屋村開催にともなう面会依頼

（伊平屋村役場）

（伊平屋診療所）



当日の様子

■療養場所ガイド活用説明会in伊平屋村

講演：「伊平屋診療所のがん治療」
伊平屋診療所長　船戸 真史 医師

講演：「本書の使い方、入手方法について」
琉球大学医学部附属病院がんセンター長　増田 昌人

資料3

琉球大学医学部附属病院がんセンター

がん療養場所ガイド活用説明会in北大東島に関する報告書

2016年12月9日

がん療養場所ガイド活用説明会in北大東島　概要

「がん患者さんのための療養場所ガイド」の刊行に際し、本書の活用説明会を北大東村で実施した。活用説明会では北大東診療所の小澤医師に講演を依頼した。また当地での説明会開催に際し、北大東村役場、北大東診療所を表敬訪問した。

■がん患者さんのための療養場所ガイド活用説明会　北大東島
開催にともなう面会依頼
（北大東村役場）
日　　時：平成28年12月9日（金）15：30～16：30
場　　所：北大東村役場
出 席 者：北大東村長　宮城光正　様
北大東副村長　鬼塚三典　様
北大東村役場　福祉衛生課長　大城勝彦　様
琉球大学医学部附属病院がんセンターセンター長　増田昌人
琉球大学医学部附属病院がんセンター事務補佐員　又吉未央

（北大東診療所）
日　　時：平成28年12月9日（金）17：00～17：30
場　　所：北大東診療所
出 席 者：北大東診療所長　小澤萌　様
琉球大学医学部附属病院がんセンターセンター長　増田昌人
琉球大学医学部附属病院がんセンター事務補佐員　又吉未央

■療養場所ガイド活用説明会in北大東島
日　　時：平成28年12月9日（金）19：00～20：00
場　　所：北大東保健・福祉センター　１階　リハビリ室
内　　容：（１）講演「病院のかかり方、情報の集め方」
琉球大学医学部附属病院がんセンター長　増田昌人
（２）講演「北大東村でできるがん医療」
北大東療所長　小澤萌　医師
（３）質疑応答

告知ツール（チラシ・ポスター）

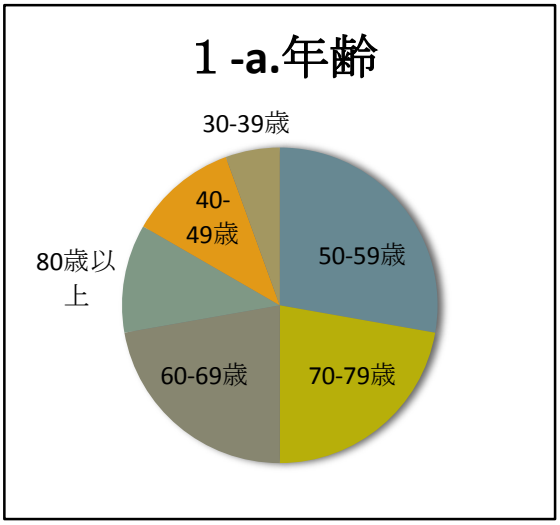
当日スライド表紙

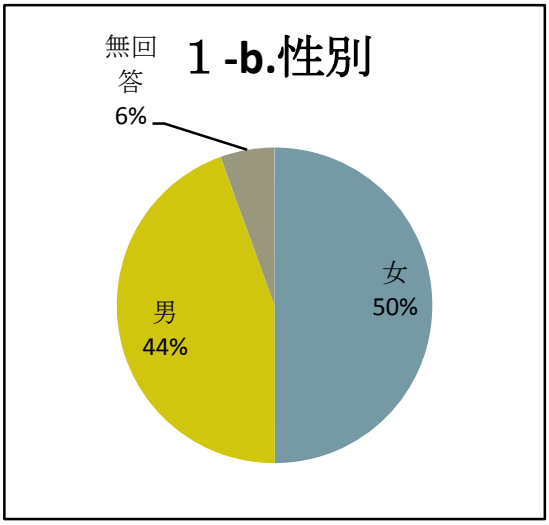
がん患者さんのための療養場所ガイド活用説明会　in　北大東村

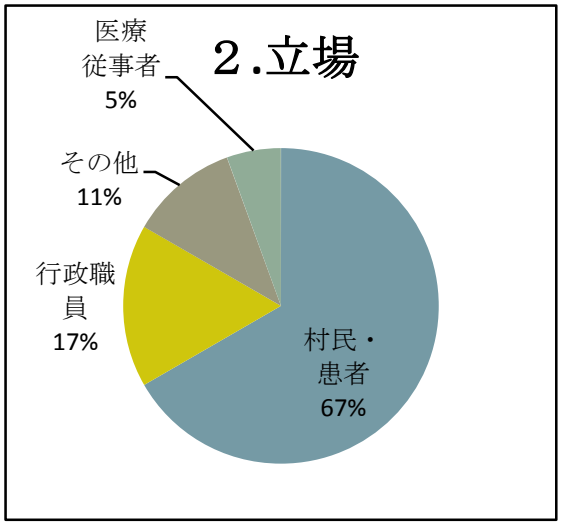
琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田　昌人

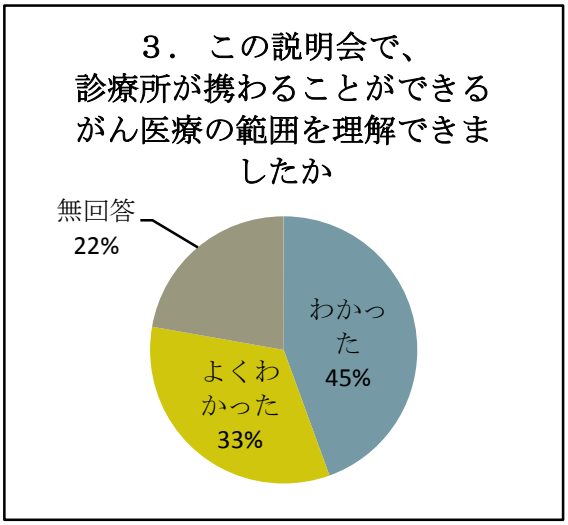
療養場所ガイド活用説明会in北大東島アンケート結果

2016年12月9日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会北大東村
参加者20人　アンケート回答率90.0%



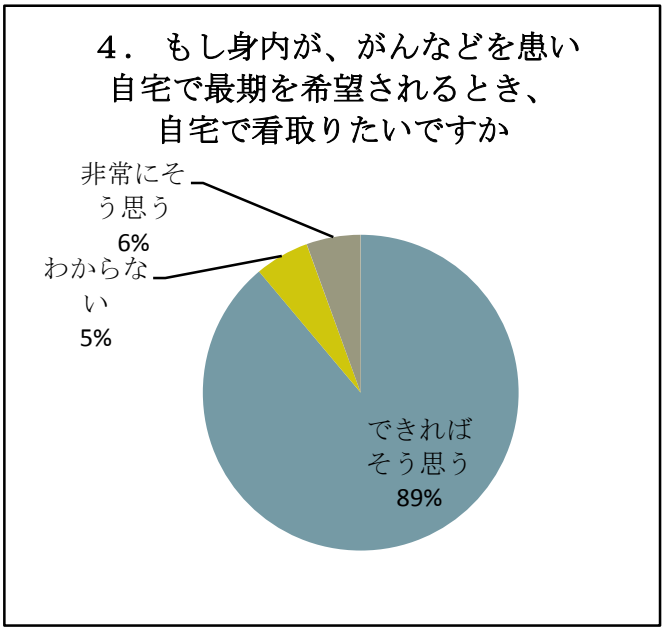






療養場所ガイド活用説明会in北大東島アンケート結果

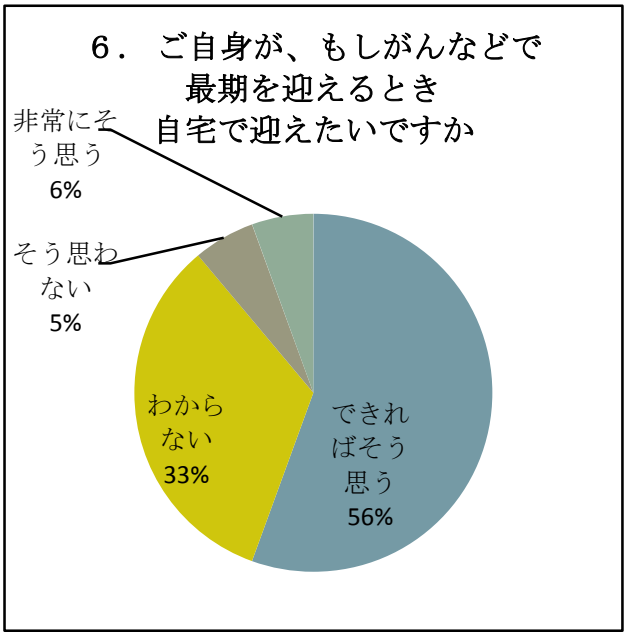
2016年12月9日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会北大東村
参加者20人　アンケート回答率90.0%



５．４の理由を教えてください
できる限り希望を聞いてサポートしてあげたい。
家族との都合で（交通の関係）。
生まれ育った島で看取りたいのは誰でも感じていることだと思う。 反面、周りに迷惑をかけるのではと不安を抱いているかと思います。
本人の希望に沿うことが大切と思う。
本人もしくは家族がそのように願うと思う。
しかし子供たちに任せる。
家族の介護能力、周囲の福祉サービスの内容による。
本人の希望が大事かと思います。
島では落ち着くかなーと思います。
ステージで決めたいかなって考えます。
本人はすごく帰りたかったのに状態が悪化し、 島に連れて帰ることができなかったので、今でも心が痛む。
身内がどう考えているかわからない。 北大東診療所でどの程度の療養ができるのか。
長年、住み慣れた家なので最期は家族で看取りたいです。

療養場所ガイド活用説明会in北大東島アンケート結果

2016年12月9日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会北大東村
参加者20人　アンケート回答率90.0%

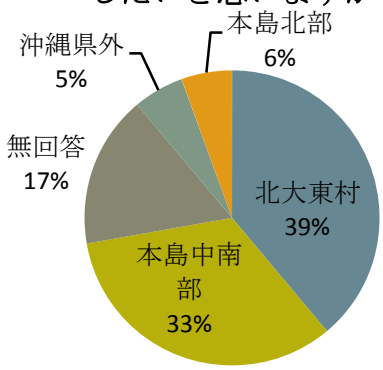


７．６の理由を教えてください
家族に迷惑をかけることになるのも心苦しい。
複雑。
家族との都合で（交通の関係）。
やはり本島へ出たりすると医療費がかさむ。
自分が一番落ち着くところが良いと思う。
自身だったら病院で最期がよいと思う。
子どもに任せる。
家族の介護能力、周囲の福祉サービスの内容による。家族と一緒ならどこででも。
今までは良くわからなかったが、増田先生、小澤先生のお話しを聞いてどうするか考える必要を感じました。
できれば自宅で過ごしたい。
専門医のいる病院を希望します。家族に負担を掛けたくない。
身内の問題、経済的問題だと思う。
子や孫たちと一日でも一緒にいたいから。

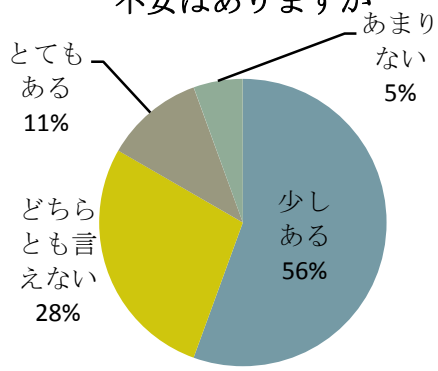
療養場所ガイド活用説明会in北大東島アンケート結果

2016年12月9日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会北大東村
参加者20人　アンケート回答率90.0%

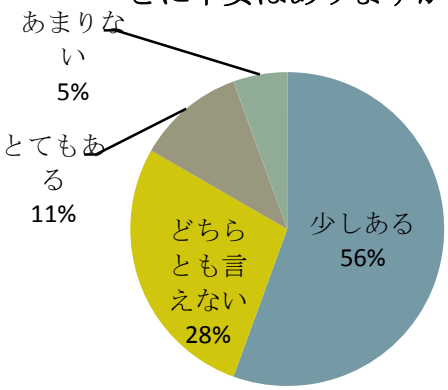
８．もしあなたが
がんになったら、どこで治療
したいと思いますか



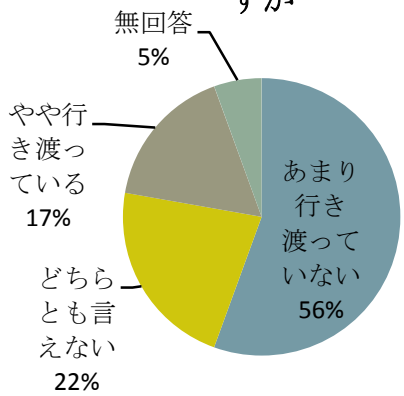
９．がんになったとき、
北大東村で治療することに
不安はありますか



１０．がんになったとき、
村外（本島など）で治療するこ
とに不安はありますか



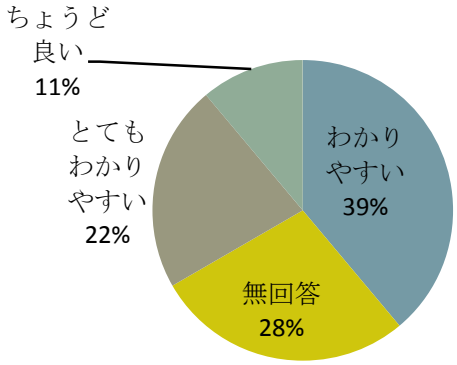
１１．北大東村では、
がんの療養について
十分な情報が行き渡っていま
すか



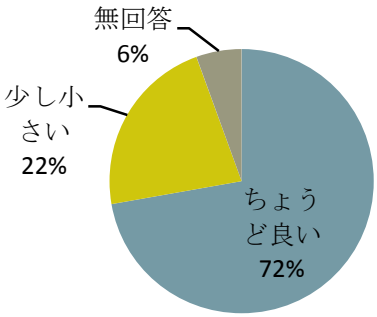
療養場所ガイド活用説明会in北大東島アンケート結果

2016年12月9日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会北大東村
参加者20人　アンケート回答率90.0%

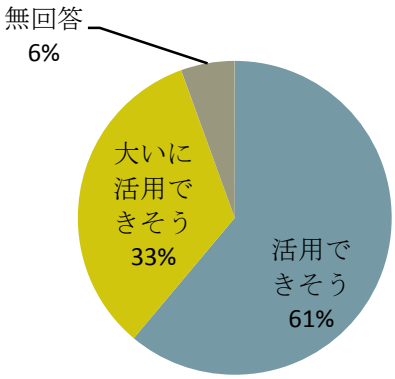
１２．がん療養場所ガイドブックの内容についてどう思われますか



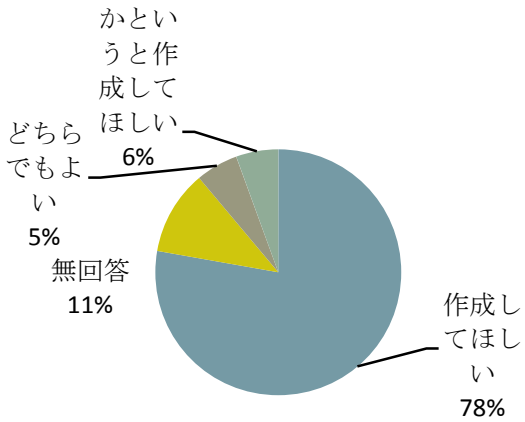
１３．がん療養場所ガイドブックの文字の大きさ（フォントサイズ）についてどう思われますか



１４．がん療養場所ガイドブックを活用できそうですか

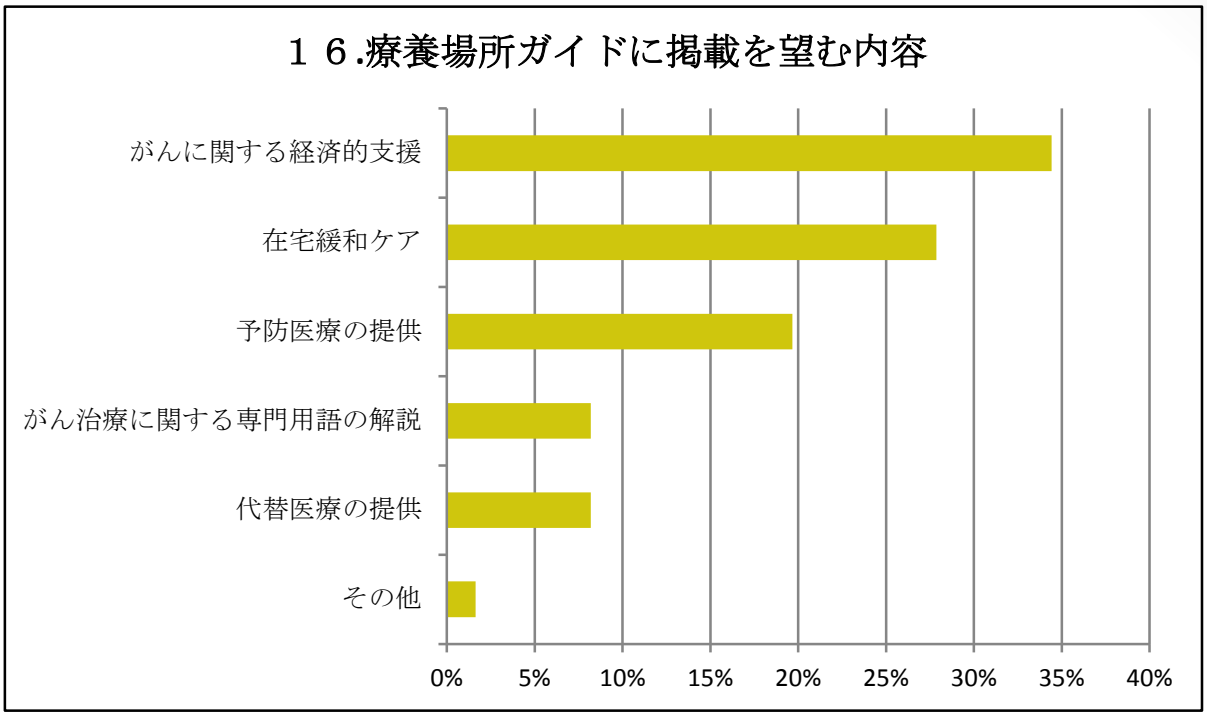


１５．この冊子を、今後も継続して作成してほしいとどちらかというと思いますか



療養場所ガイド活用説明会in北大東島アンケート結果

2016年12月9日（金）
がん療養場所ガイドブック活用説明会北大東村
参加者20人　アンケート回答率90.0%



17．その他　説明会の感想や、診療所への要望など何かあれば自由に記載してください
がんに対する考えが少し変わりました。長く健康でいられるようにしたいです。本日はありがとうございました。
すごく解りやすく良かったです。ガイドブックを手に入れる方法は？
サポートが予想以上に行行き届いているので安心しました。
毎年説明会をやっていただきたい。がんの説明会で少し考えることになった。
毎年住民健診または人間ドックを受けています。その結果票を診療所に持って行き、先生から結果を説明してもらっています。歴代の先生、ありがとうございます。近日中に今年の検診票が届きますので小澤先生のお世話になります。よろしくお願いします。
増田先生の癒しの声で、とっつきにくい内容の話しもすっと耳に入ってきました。とてもわかりやすかったです。
自分自身の健康管理、定期的に健診の大切さがわかった気がします。
「がん」に対する認識を深めることができた。
もしがんと診断されると頭が真っ白になって気がおかしくなるのではと思っていましたが、 今日の話しを聞くことで前向きな考えを持つことができると思いました。 ありがとうございます。
大変わかりやすく良かったと思いました。
とても良かったです。

当日の様子

■がん患者さんのための療養場所ガイド活用説明会　北大東村
開催にともなう面会依頼

（北大東村役場）

（北大東診療所）

当日の様子

■療養場所ガイド活用説明会in北大東島

講演:「病院のかかり方、情報の集め方」
琉球大学医学部附属病院がんセンター長　増田 昌人

講演:「北大東村でできるがん医療」
北大東診療所長　小澤 萌 医師

資料4

琉球大学医学部附属病院がんセンター

がん療養場所ガイド活用説明会in南大東島に関する報告書

2016年12月10日

がん療養場所ガイド活用説明会in南大東島　概要

「がん患者さんのための療養場所ガイド」の刊行に際し、本書の活用説明会を南大東村で実施した。活用説明会では南大東診療所の黒田医師に講演を依頼した。また当地での説明会開催に際し、南大東村保健センター、南大東診療所を表敬訪問した。

■がん患者さんのための療養場所ガイド活用説明会　南大東島
開催にともなう面会依頼
（南大東村保健センター）
日　　時：平成28年12月10日（土）18：00～19：00
場　　所：南大東村保健センター
出 席 者：南大東村長　仲田 建匠　様
南大東村役場　福祉民生課長　大城 盛明　様
琉球大学医学部附属病院がんセンターセンター長　増田 昌人
琉球大学医学部附属病院がんセンター事務補佐員　又吉 未央

（南大東診療所）
日　　時：平成28年12月10日（土）17：00～17 ： 30
場　　所：南大東診療所
出 席 者：南大東診療所長　黒田 格　様
琉球大学医学部附属病院がんセンターセンター長　増田 昌人
琉球大学医学部附属病院がんセンター事務補佐員　又吉 未央

■療養場所ガイド活用説明会in南大東島
日　　時：平成28年12月10日（土）19：00～20：00
場　　所：南大東保健センター　１階
内　　容：（１）講演「病院のかかり方、情報の集め方」
琉球大学医学部附属病院がんセンター長　増田 昌人
（２）講演「南大東村でできるがん治療」
南大東療所長　黒田 格　医師
（３）質疑応答

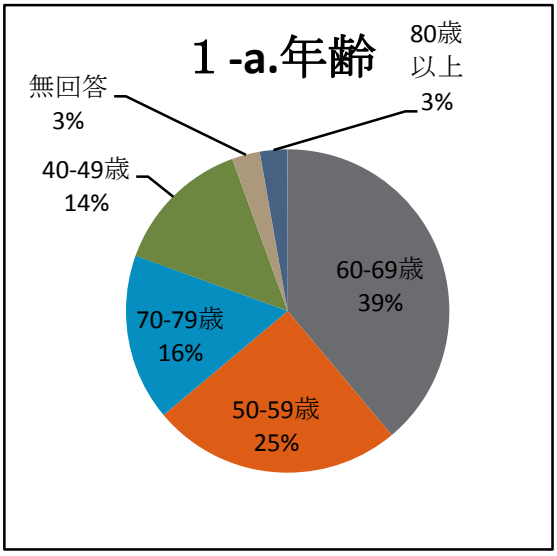
告知ツール（チラシ・ポスター）

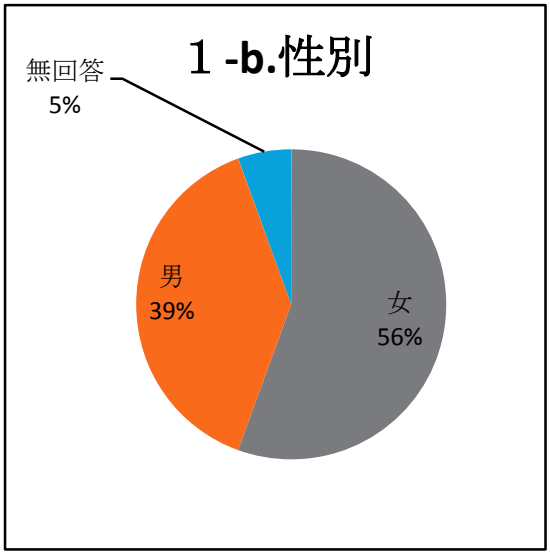
がん患者さんのための療養場所ガイド活用説明会　in　南大東村

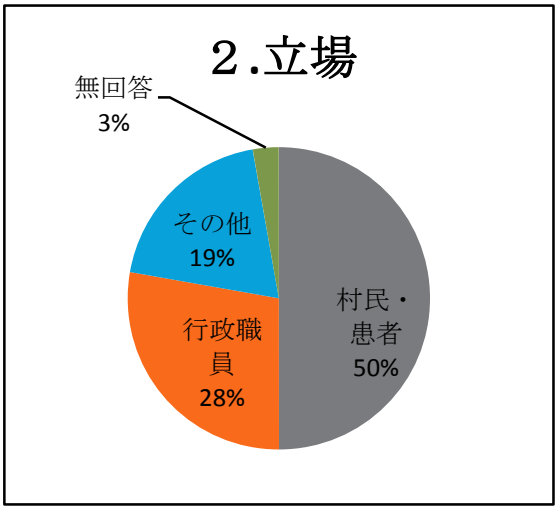
琉球大学医学部附属病院がんセンター
増田　昌人

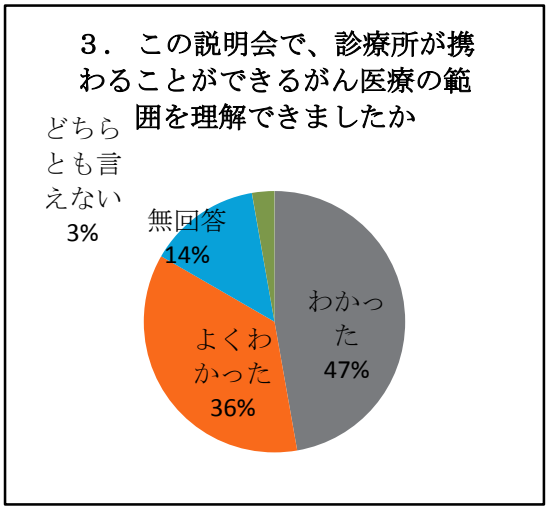
療養場所ガイド活用説明会in南大東島アンケート結果

2016年12月10日（土）
がん療養場所ガイドブック活用説明会南大東村
参加者57人　アンケート回答率63.2%



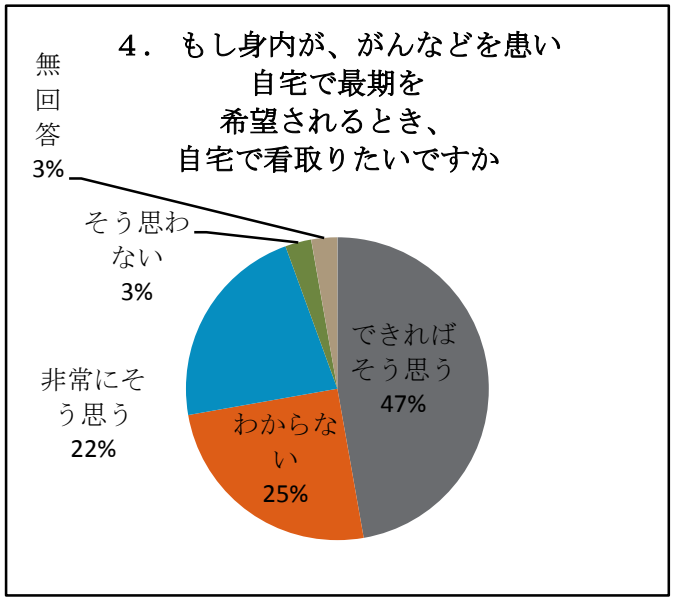






療養場所ガイド活用説明会in南大東島アンケート結果

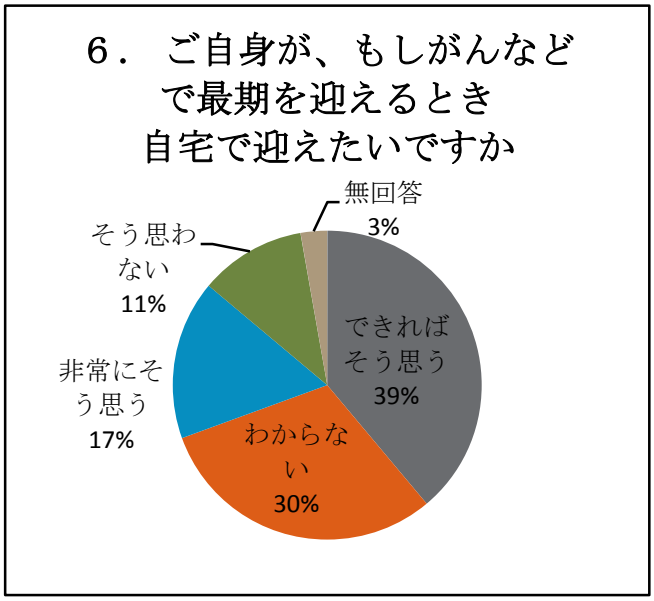
2016年12月10日（土）
がん療養場所ガイドブック活用説明会南大東村
参加者57人　アンケート回答率63.2%



５．４の理由を教えてください
すでに母を自宅で看取ったので。
家族の負担が心配。
本人の希望に沿いたい。
痛みを抑えられるのか心配。
最期を自宅を希望しているのなら、時間があったら徹底的に看病したい！
病院での看取りは切ない。家族や身内の多くで送りたい。患者の立場になったとして、やはり身内が側にいたほうが嬉しい。特に孫等の小さい人たちに身近で死を馴染ませたい。
できればそうしてあげたい気持ちでいますが、本島の病院で出来る限りの治療もしてあげたいと思っています。
本当に当事者とうまく話しができるのか（今まで本人に知らせないことが多いと思う）。話しを切り出すタイミング（診療所の先生がなかに入ること）ができれば上手くいくと思う。
本人が希望しているので。
本人が痛がってなければ自宅で看取りたい。
本人がそのような希望であればそのようにしてあげたいです。
希望通りにしてあげたい。
理由はありません。
希望に沿いたいと思うので、頑張ると思います。
先生の話しを聞いて安心しました。それでもむずかしかったら考えたいです。 本人の希望に沿いたいです。
自宅で看取りそして家族にも負担をかけない。
症状によって苦しみがでなければいい。場所は関係なく。

療養場所ガイド活用説明会in南大東島アンケート結果

2016年12月10日（土）
がん療養場所ガイドブック活用説明会南大東村
参加者57人　アンケート回答率63.2%

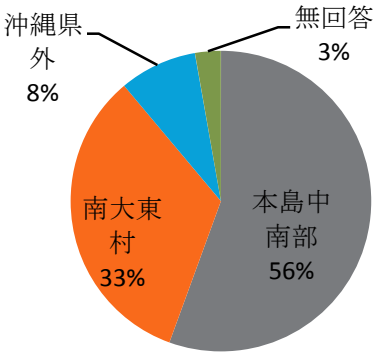


７．６の理由を教えてください
家族と最期はいたい。
家族の負担が心配。
病院に長くいたくない。
考えたらこわい。がんは痛いと聞いているので、やわらげるところがいいかな。ホスピスで音楽を聞いて！
5の質問の回答プラス、住み慣れた場所で心置きなく安心してあの世に旅立ちたい。身内にこれまでの人生を共にしてもらったことに感謝を伝えたい。
家族に看取られながら、住み慣れた我が家でできるだけ悔いのないやり残しがないように。
急でわからない
家族の負担にならない程度の時は、自宅で迎えたいが大東の場合には医療の部分で迷う。
自由に生きていられる。
家族のそばにいたい。
住み慣れた家で死にたい。
家だと介護が難しくなったら、病院のほうが。みんなの負担を考えてしまいます。
それがベストだと思う。
家族に負担がかかるから。

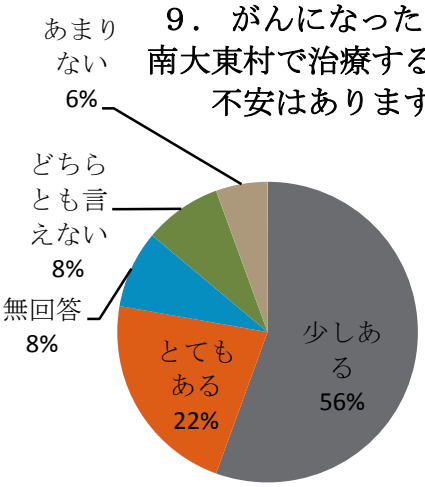
療養場所ガイド活用説明会in南大東島アンケート結果

2016年12月10日（土）
がん療養場所ガイドブック活用説明会南大東村
参加者57人　アンケート回答率63.2%

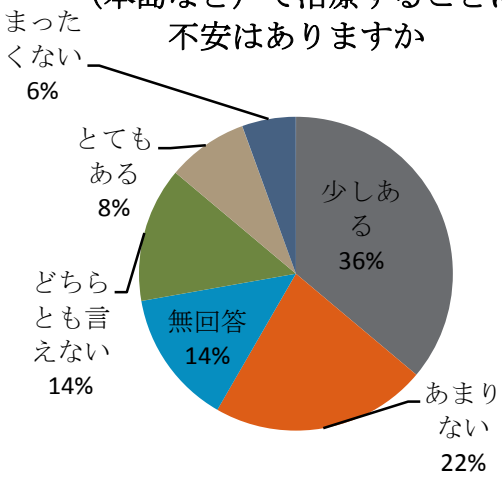
８．もしあなたががんになったら、どこで治療したいと思いますか



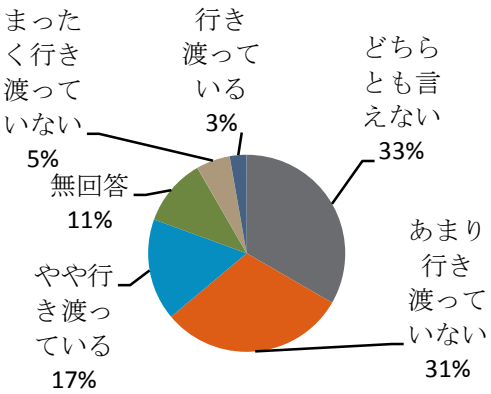
９．がんになったとき、南大東村で治療することに不安はありますか



１０．がんになったとき、村外（本島など）で治療することに不安はありますか



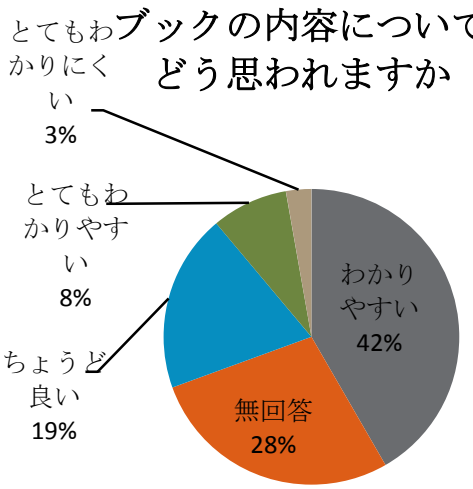
１１．南大東村では、がんの療養について十分な情報が行き渡っていますか



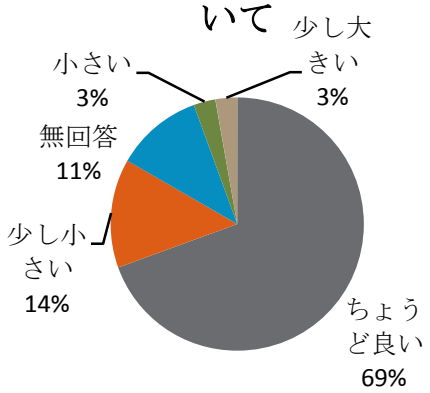
療養場所ガイド活用説明会in南大東島アンケート結果

2016年12月10日（土）
がん療養場所ガイドブック活用説明会南大東村
参加者57人　アンケート回答率63.2%

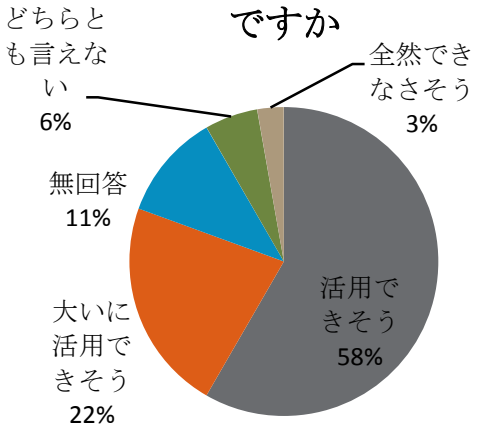
１２．がん療養場所ガイドブックの内容についてどう思われますか



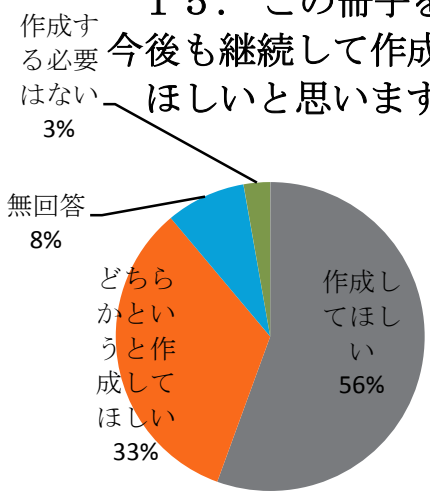
１３．がん療養場所ガイドブックの文字の大きさ（フォントサイズ）について



１４．がん療養場所ガイドブックを活用できそうですか

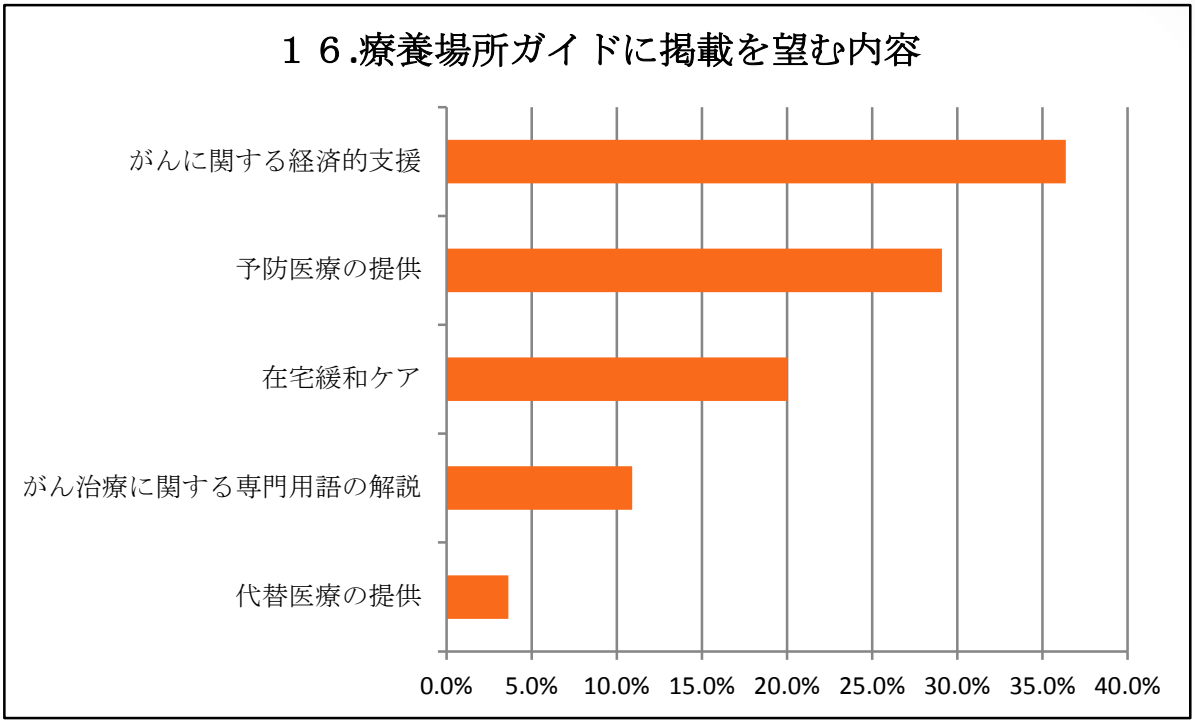


１５．この冊子を、今後も継続して作成してほしいと思いますか



療養場所ガイド活用説明会in南大東島アンケート結果

2016年12月10日（土）
がん療養場所ガイドブック活用説明会南大東村
参加者57人　アンケート回答率63.2%



17．その他　説明会の感想や、診療所への要望など何かあれば自由に記載してください
がんの療養についての情報を得ることができた。またインターネットでのいい情報を得るURLを紹介してもらってよかった。
テレビできょうの健康を見てて、当てはまるときは専門医院で検診を受けてます。
診療する場所等が、離島のため人間等が身近過ぎるので、先生と事務所は離すべき。
とてもいい話が聞けてよかったです。
1年に1回はがんについての説明会、お話しがあれば良いです。
がんに対する不安がなくなりました。告知されたら前向きにがんと向き合い治療できそうです。
ゆっくりな口調でわかりやすかった。時々沖縄訛りがあって親しみが持てた。

当日の様子

■がん患者さんのための療養場所ガイド活用説明会　南大東村
開催にともなう面会依頼

（南大東村保健センター）

（南大東診療所）

当日の様子

■療養場所ガイド活用説明会in南大東島

講演:「病院のかかり方、情報の集め方」
琉球大学医学部附属病院がんセンター長　増田 昌人

講演:「南大東村でできるがん治療」
南大東診療所長　黒田 格 医師